

学習シラバス (理) 科

科目名	単位数	学年・類型
生物基礎	2	第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 2 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。 3 目的意識を持って、観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けます。
---------	---

2 学習計画等

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第1章 生物の特徴 1 生物の多様性と共通性 2 エネルギーと代謝	生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解します。 生命活動に必要なエネルギーの出入りと、代謝にかかわる酵素の働きについて学びます。
	3 呼吸と光合成	呼吸や光合成の過程で ATP が合成されること、簡単なしくみについて学びます。
	第2章 遺伝子とそのはたらき 1 遺伝情報と DNA	遺伝情報を担う物質である DNA の特徴について学びます。
	2 遺伝情報の複製と分配 3 遺伝情報の発現	細胞分裂の観察を通して、DNA・染色体について理解を深めます。 DNA の情報に基づきタンパク質が合成されるしくみを学びます。
2 学期	第3章 ヒトの体内環境の維持 1 体内での情報伝達と調節	体内での情報伝達が、からだの状態の調節にかんげいしていることを理解し、それぞれの特徴を学びます。
	2 体内環境の維持のしくみ	恒常性の維持のために、自律神経系・内分泌系が重要なはたらきを担うことを学びます。
	3 免疫のはたらき	免疫による生体防御システムや免疫が医療に応用されていることについて学びます。
3 学期	第4章 生物の多様性と生態系 1 植生と遷移	植生の成立条件について考えを深めます。植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、その原因について考えを深めます。
	2 植生の分布とバイオーム	
	3 生態系と生物の多様性	生物どうしの関係が種多様性の維持にかかわっていること、生態系の保全の重要性について考えを深めます。
	4 生態系のバランスと保全	

3 評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。 ・定期考査 ・授業中の活動への取組 ・確認テスト ・ルーブリック評価
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 ・定期考査の論述問題 ・実験レポートの内容 ・発表の内容 ・ルーブリック評価
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しを持って振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・授業に取り組む態度 ・ノート等における記述 ・授業中の発言 ・ルーブリック評価